

令和7年度第2回広報・広聴委員会 会議報告（案）

日 時 令和7年8月27日（水）13：30～16：30
場 所 大手門学院大学総持寺キャンパス
アーケ棟 431 教室
出席者 藤吉委員長、宇野、鎌田、山田、吉原
宮田・柳沢（事務担当）

○報告事項

（1）令和7年度第1回役員会、総会報告

○協議事項

（1）会報118号の編集経過

- ・7本の依頼原稿中、6本が集まっており、予定通り9月下旬に刊行を予定している。

（2）『記録と史料』第36号及び第37号の構成について

第36号

- ・研修会Eは-1、-2・3コースを中心に従来通り2頁で掲載する。
- ・大会参加記は地元1人、全国1人をめやすに参加者名簿が公表されたら、できるだけ早く依頼する。ポスターセッションについても同様。
- ・従来の会誌企画「アーキビストの眼」「世界の窓」等も可能であれば、数本掲載する（能登地震被災資料レスキューについての会員の取組みを含む）。

第37号

- ・メインの特集や「アーキビストの眼」等の関連企画案を出し合った（今後もメーリングリストで継続）。

（3）要綱・要領の等の改正について

- ・「,」「,」が混在しているものがあり、統一する。
- ・今後、新たに査読要領をつくる必要がある。

（4）全史料協ホームページ「情報掲示板」について

- ・今期は直接事務担当がホームページを更新しているので、掲載までの期間が数日間に短縮されている。
- ・常勤・非常勤にかかわらず、業務内容がアーキビストに関わる募集であれば、情報提供があったものを中心に掲載することを確認した。これまでどおり、営利事業の単発的なバイト募集のようなものは掲載しない。

（5）その他

- ・次回役員会（11月12日）には、委員長が都合で出席できないため、宇野副委員長と事務担当が参加する。
- ・事務担当の負担が大きい会誌等の販売については、今後アマゾン等の業者への委託販売もあわせて検討する。
- ・全史料協に対する意見・要望のフォーム・掲示板掲載用のフォームがうまく動作していない点については、本部事務局とともに対応する。

以上